

防災専門官 野田 秀敏

新ハザードマップ (保存版)完成!

新ハザードマップは、冊子型で、最近の豪雨対策の一助として、新たに浸水想定図(A1サイズ)を追加する等内容を一新しました。

特に、洪水については100年に1度の降水量(L1)に加えて、1000年に1度の降水量(L2)の豪雨による浸水想定図を新設、また、災害への備えについての情報も充実、各家庭の防災対策に役立ててください。



新マップの内容

- ・ 防災情報伝達の流れ
- ・ 避難情報の種類と取るべき行動
- ・ 風水害・洪水・台風・土砂災害・地震・火災
- ・ 弾道ミサイル
- ・ 原子力災害
- ・ 自主防災組織
- ・ 避難時の注意点
- ・ ハザードマップの見方
- ・ ハザードマップ(7枚)
- ・ 避難所一覧(校区别)
- ・ 防災対策&チェック
- ・ 非常時持出品の準備・チェック
- ・ 防災ポケットブック

防災マップの使い方

① **まずは自宅の位置を確認**
自宅がある場所はどのような災害が予想されるのか、地図を見て確認しましょう。

② **災害想定区域を避けた避難経路を決める**
避難経路を地図上で確認し、土砂災害や浸水などの災害が想定される場所を避けて避難できるようにしましょう。

③ **自宅付近の避難所を確認**
自宅に一番近い、災害種別(風水害、土砂災害・地震)に応じた避難所を、地図で確認しましょう。

④ **実際に避難経路を歩いて、安全を確認**
家庭や地域で話し合い、実際に経路を歩きましょう。避難経路沿いの危険な場所のチェックや避難経路の見直しなど、複数の経路を選定しましょう。

浸水想定図(A1サイズ2枚)は、水防法の規定に基づき、計画規模(L1)は、計画降雨(325mm)による洪水浸水想定区域と水深を示しています。また、想定最大規模(L2)は、想定し得る最大規模(966mm)の降雨による洪水浸水想定区域と水深を示した地図で、ともにシミュレーションにより予測したものです。このL1・L2は、鷺田川・大佐野川の決壊による氾濫、L1・L2を超える規模の降雨や内水氾濫などは、考慮していませんので、洪水浸水想定区域外の地域でも浸水が起きる場合があります。

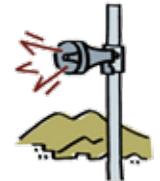
災害から身を守り、被害を最小限に食い止めるためには、日頃の備えが大切
新マップは、防災に関する情報をはじめ、浸水被害・土砂災害の発生する危険のある場所、活断層や避難所の位置などを、地図上に示したもので、地域の防災対策にも有効です。



コミュニティ無線をととしてのJアラート試験放送を実施します

緊急時にJアラート(全国瞬時警報システム)の情報がコミュニティ無線で正常に放送できるかを確認するため、全国一斉に実施される試験放送を本市においても下記の日程のとおり実施します。

- | | | | |
|-------------|--------------------|-------------|--|
| 放送日時 | 5月18日(水) 午前11時 | 放送内容 | 「これは、Jアラートのテストです」を3回くりかえし放送し、「こちらは太宰府市です」を1回放送します。 |
| | 8月10日(水) 午前11時 | | |
| | 11月16日(水) 午前11時 | | |
| | 令和5年2月15日(水) 午前11時 | | |



※一斉訓練の状況に応じて、中止または延期される場合があります。 太宰府市 総務部 防災安全課(内線 519・549)